

共通開講科目(アオッサ) 「生活」とは何か／福井大学

科目名/提供大学名	「生活」とは何か／福井大学
科目名(英文)	Basic Home Economics/University of FUKUI
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	前期
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	オンライン授業ーオンデマンド型(録画配信型)
担当教員名	末川和代
オフィスアワー	総合研究棟V(教育系I号館)5階、木曜日12:00~13:00、実務経験:学校等
教員メールアドレス	suekawa@u-fukui.ac.jp
概要	<p>生活は、人間が生涯にわたって繰り返す営みであり、その様相は営む個人の価値観等によって大きく異なる。また、ある人間の生活が、他者の生活や周囲の環境と相互に関わり合うことで、社会は形成される。すなわち「生活」とは、社会科学が対象とする「人間」や「社会」そのものであり、社会科学的研究においては極めて重要なキーワードであると言えよう。</p> <p>「生活」とは何か?」をテーマに展開する本授業では、特に「人間の生命・労働力の再生産の場」としてとらえることができる家庭生活に焦点を当てる。生活を構成する様々な事象を家政学的見地から分析し、現代における生活の問題点や課題を認識する。その上で、生活を送る主体として、人間に求められるものは何かを検討する。</p>
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	「生活」とは何かを考える手立てとして、生活者の視点で科学する学問「家政学」の理論を理解した上で、家政学研究の進め方や研究の際に用いるデータを把握する。現代の生活を生活経営の側面から捉え、ペイドワークとアンペイドワーク、将来設計と働き方、家族のあり方を考察する。講義を通して、自分自身の生活とは何かを考え、ライフステージごとに将来を設計する。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<p>到達目標①: 家庭生活を「人間の生命・労働力の再生産の場」としてとらえ、その機能を説明できる。</p> <p>到達目標②: 現代社会における様々な矛盾と「生活」との関わりを認識できる。</p>
授業計画・授業内容	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 生活者の視点で科学する</p> <p>第3回 生活を科学するための理論</p> <p>第4回 家政学研究の具体例①</p> <p>第5回 自分の将来を見通す</p> <p>第6回 家政学研究の具体例②</p> <p>第7回 家政学研究で用いるデータ～研究の進め方～</p> <p>第8回 家政学研究で用いるデータ～統計資料を活用するために～</p> <p>第9回 明日の活力を得るとは?～賃金を得ることに焦点を当てて～</p> <p>第10回 明日の活力を得るとは?～仕事と働き方(生活経済の理論)～</p> <p>第11回 明日の活力を得るとは?～大学生の生活課題 就職活動～</p> <p>第12回 明日の活力を得るとは?～無報酬労働を中心に～</p> <p>第13回 家族を創る～ワークライフバランス～</p> <p>第14回 家族を創る～家族の変化～</p> <p>第15回 家族を創る～家族の役割～ まとめ</p>
授業方法	オンライン授業ーオンデマンド型(録画配信型)
キーワード	
教科書	特になし
参考書	特になし
評価方法・評価基準	毎回の課題に対する取組等により総合的に評価する。
関連科目	
履修の要件	特になし
必要な事前・事後学習	自分の将来との関わりを意識し、講義内容や疑問点等を整理する。
その他・注意事項	